

リーディングDXスクール事業【実践事例】

佐世保市立中里中学校（長崎県）

【取組内容①】「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」（自己調整力を高める授業）

◇授業において、生徒が学び方や学習材を自ら選ぶ学びの時間を設ける。

・文房具としての**タブレット**を、**学習の選択肢の1つと捉える**。タブレットが必要な時にすぐ使える環境・状況をつくる。

【学び方】

- ・ひとりで学ぶ（個別）
- ・みんなで学ぶ（協働）
- ・先生と学ぶ（一斉・個別）

【目指す生徒の姿】

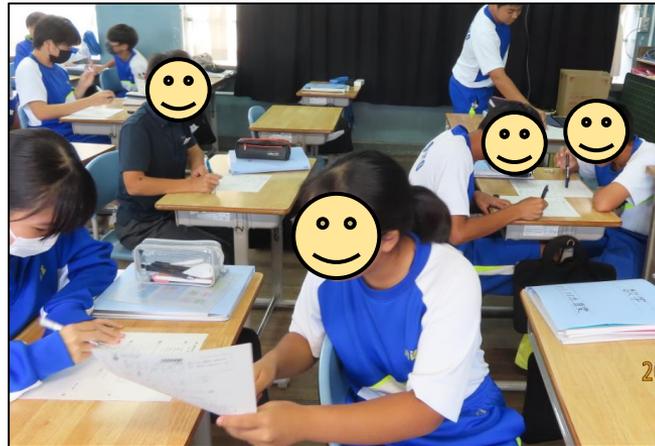
- ・自分の学びを深めるために、様々な学び方に挑戦する。
- ・自分に適した学び方を発見したり、課題によって学び方を変えたりする。
- ・他者の学び方を参考に、自分の学び方を変容させていく。（自己調整力）

【学習材】

- ・教科書＋ノート
- ・ワーク
- ・プリント
- ・**タブレット**
 - ・デジタル教科書
 - ・学習ドリル
 - ・学習サイト
 - ・学習動画（YouTube等）※B-3
- ・持ち込み教材

【生徒の変容】

- ・年度当初は、自分の活動を自分で決めることに慣れず、教師のすすめや周りに倣う生徒が多かった。
- ・教師が各学習材の特徴を繰り返し紹介するうちに、自分の特性や内容の難易度に合わせ、理由をもって選べる生徒が増えてきた。



【教師の変容】

・自由度の高い活動で生徒が生き生きと試行錯誤する様子を見て、「教師がいかに教えるか」以上に「生徒がどう学ぶか」を軸に据えた授業づくりの必要性が高まった。

【取組内容①】「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」（アウトプットを中心とした授業）

- ◇授業において、生徒が考えをクラウド上に入力・共同編集し、意見共有を行う。（Googleスライド、Jamboard等）
- ・クラウドの活用により、他者参照、意見共有がぐっと手軽なものになった。

【目指す生徒の姿】

- ・問題解決に向けて、主体的に粘り強く取り組む。（学びに向かう力）
- ・自分で適切な課題設定ができ、解決に向け見通しを立てて活動できる。（学習過程を身に付ける）

【生徒の変容】

- ・初めは教師から解答方法等が提示されないことに戸惑っていたが、経験を積むうちに「自分で考えようとする」生徒が多くなってきた。
- ・他者の意見を参照しながら、人に聞いてでも、何とかして自力解決しようとする様子が見られるようになった。
- ・多様な意見に一瞬でふれることができる良さを実感する声も聞かれた。

【教師の変容】

- ・アウトプットを中心とした授業に転換してみると、生徒が「自分で考える」ことに慣れていない実態に気付かされた。
- ・教師は活動状況をクラウド上で即時に見取れるため、**学習活動が良い方向に進むよう支援することが容易になった。**
- ・生徒の実態に応じて学習過程をどのように設定するか等、授業づくりの視点が変わってきた。
- ・全体で確認すべき事柄を授業のどの場面で押さえるか、教師側の課題も多く残る。

【2-3】(6) まとめスライド ☆ @ @

ファイル 編集 表示 挿入 表示形式 スライド 配置 ツール 拡張機能 ヘルプ

スライドショー 共有

検索 + 戻る 進む 共有 印刷 複製 削除 消す 塗りつぶし 背景色 背景 レイアウト テーマ 切り替え効果

1 2 3 4

No. 1_2

60°
P
50°
180°
110°

$$b + b + 60 + a = 180$$

$$a + b = 120$$

$$x = 180 - (a + b)$$

$$= 180 - 120$$

$$= 60$$

2

42°
b + a = 83°
x = 180 - (42 + 83)

$$x = 180 - 125$$

$$x = 55$$

3

60°
P
50°

4

5

No. 2_2

60°
P
50°

6

7

8

180 - 97 = 83°

83°
鈍角

$$x = 180 - (83 + 14)$$

$$= 83$$

リーディングDXスクール事業【実践事例】

佐世保市立中里中学校（長崎県）

【取組内容②】動画教材の活用

◇教師は授業や家庭学習で利用できる**動画教材を適宜紹介し、生徒が必要に応じて活用する。**

・教師が、一般に公開されている動画を**授業等で活用**する。

【目指す生徒の姿】

- ・自ら必要な学習材を探し、学びを深めようとする。
- ・動画のよさを理解し、学習や生活で必要なときに活用しようとする。

【生徒の変容】

- ・家庭学習で活用するようになった。

【保護者の変容】

- ・端末活用の一手として、子どもに動画学習を勧める家庭が増えた。

【教師の変容】

- ・学習内容を深めるためのツールとして動画を活用する教師が増えた。
- ・必要な教材を自ら作成する手間の削減、負担の軽減を実感し、動画も取り入れた教材研究をするようになった。



さんが新しい課題を投稿しました: 道徳（2月9日）風を感じて～村...

投稿日: 2月9日（最終編集: 2月9日）

道徳（2月9日）風を感じて～村上清加のチャレンジ

1

提出済み

29

割り当て済み



陸上
競技

道徳（2月9日）風...
Google Jamboard



【公式】PARA☆DO...
YouTube 動画・2分



「義足の私を見て！...」
YouTube 動画・8分

リーディングDXスクール事業【実践事例】

佐世保市立中里中学校（長崎県）

【取組内容③】「端末の日常的な持ち帰りによる家庭学習の充実」

◇授業と家庭学習をリンクさせるため、授業の内容をクラウドで配信する。（Googleクラスルーム）

- ・簡単なクイズや豆知識を配信し、授業内容への興味関心を持たせる。

【目指す生徒の姿】

- ・学校と家庭学習とをつなぐ道具として、端末を活用する。
- ・学習ポートフォリオとして、端末を活用する。

【生徒の変容】

- ・ほとんど全員が日常的に持ち帰るようになった。
- ・端末を予習復習に活用しているという声が聞かれるようになった。

【教師の変容】

- ・連続的な学習の在り方を考える機会が増えた。
- ・単元計画の中に端末の活用を組み込むことに慣れてきた。（「とにかく使う」から「効果的に使う」へ）

【取組内容④】校務の徹底的な効率化

◇校務上の連絡をクラウドで行う。（Googleチャット）

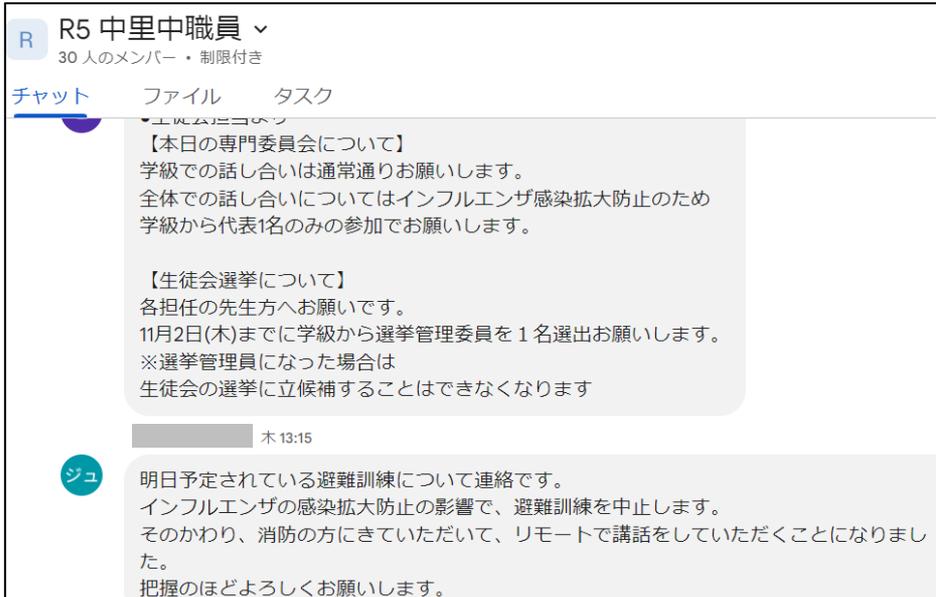
- ・従来の連絡方法（口頭連絡、職員室内の掲示板、校務支援システム）に加えて導入。
- ・Googleの一連の機能と連携しているため、データの共有が容易になった。
- ・スマートフォンアプリの活用（私有端末の併用）については課題も残る。

【効率化できた校務の例】

- ・日程変更の連絡
- ・校務締切のリマインド
- ・職員会議の資料添付
- ・研究資料の配付
- ・研修講義メモの共有（白紙共有）

【教師の変容】

- ・校務端末でのチャット機能はこれまでも存在していたが、クラウド上のチャットになり、便利さから活用率も高まった。
- ・効率化できた事柄を授業や生徒の活動にも活かそうとするようになった。



リーディングDXスクール事業【実践事例】

佐世保市立中里中学校（長崎県）

【取組内容④】「対話的・協働的な職員研修」

◇クラウドを活用した全職員の意見共有・共同編集（Googleスプレッドシート）

- ・限られた時間内で全職員の意見を聞けるよう、職員研修リフレクションシートを活用する。（Googleスプレッドシート）
- ・外部講師の講義型研修では、講義メモを白紙共有し、全職員で共同編集する。（Googleドキュメント）
参考になるWebページの情報を調べて載せるなど、**考えや追加資料を共有しながら講義内容を深める**ことができる。
- ・各種部会の研修に赴いた一部職員が講義メモを共有することで、クラウド上で伝達研修が完了する。

【教師の変容】

- ・即時共有、共同編集のよさを実感し、授業にも取り入れようとする姿が見られるようになった。
- ・アウトプットする場所があることで、議論が活性化することが増えた。
- ・クラウド上に記録が残ることで、時間を置いて別の場所で議論が再燃することもあった。
- ・スムーズな情報共有のおかげで、互いの状況や校務に興味を持つようになった。

リフレクション				6/20(火)	6/20(火)
学年	学級	教科	名前	リーディングDXスクール事業・今後の校内研修に関する疑問点・質問・意見	授業内外でやったことのあるまたは、これからやる「個別最適な学び」※ICTの有無関係なく
1	1	理科		どんな事業なのか、なかなかイメージができませんが、協力できることは協力していきたいと思えます。	
1	2	音楽			・楽典についての学習で学習支援ソフトを活用しました。練習問題など個別の学びができて良いのですが、勝手に動画サイト等を見ている生徒がいて、またそこで指導すべきことが増えるため使うのを控えています。
1	3	数学		・事業に関して、わかりやすく先生方にお伝えして、スムーズに年度末のまとめ作業ができるように頑張ります。	・問題演習にて、ノルマの問題が解けた人は、残り時間との問題をするか自分で選ばせている。（学習内容の個別化）

R5.8.28講義メモ (長崎大学・...)

学びの責任 教師の責任 生徒の責任 バラス
今後の展望 江戸時代（寺子屋）スタイルから学ぶ？ 一斉・協働・個別を同時に行う。

GIGA構想の役割（倉田先生）
①主体的に情報を得る 情報の取捨選択 解釈する力
②ICTは認知活動の入口
③（未来）学習データの分析→子ども自信の長所・短所が浮き彫りになるかも。（教育データ）

学習スタイル具体例
https://www.mext.go.jp/content/20201023-mxt_kyoiku01-000010203_7-1.pdf (P173~174)

沖縄の事例 マイブランチタイム（生徒が自分で学ぶ時間／学習のすすめ方を部分的にゆだねる先生が様子を見て声かけ・指導（AIにはできない）
友達を見る（友だちと自分をひかきする）、自分たちでグループ編成

初期指導○ その後ゆだねる

学力だけでなく資質・能力もみずえた授業
愛知県春日井市・藤山台小学校（複線化の授業） ←R4写真に視察時の写真が入ってます
予算45000円／ひとり